

■ 愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」



愛鳥週間の中心行事として、連盟総裁常陸宮同妃両殿下御臨席のもと、環境省、都道府県と共に開催しています。全国から参加者を募って、野生生物保護功労者表彰などの行事を行い、野鳥保護の大切さを広く全国に発信しています。

■ バードピア

バードピアとは野鳥（バード）と楽園（ユートピア）を合わせた言葉です。私たちの身の周りにある庭やバルコニーなどを、野鳥たちにも利用できる空間として提供していただけるよう呼びかけています。協力いただける個人や企業・団体に登録いただき、人と野生生物との共生を推進しています。



■ テグス被害をなくすための活動



水辺に放置されたテグス（釣り糸）などによる野鳥への被害をなくすため、支部や専門委員、会員と連携して『全国一斉テグス（釣り糸）ひろい』を実施し、野鳥にとっても快適な水辺環境づくりを進めています。

■ 『ヒナを拾わないで!!』キャンペーン



巣立った直後のヒナに出会った場合の正しい接し方を広く伝えることを目的に、日本野鳥の会、野生動物救護獣医師協会と連携してポスターを制作し、全国に配付しています。



■ 愛鳥週間用ポスター原画コンクール

愛鳥週間の普及、宣伝、制作過程を通じて愛鳥思想を高めることを目的に、全国の小学校・中学校・高等学校から愛鳥週間用ポスターの原画を募集しています。総裁賞に選ばれた作品は次年度のポスターとして、全国の地方自治体や教育機関などに配付されます。

■ 全国野生生物保護実績発表大会

環境学習を推進し、将来の自然保護を担う子供たちを育てていくため、全国の小・中・高等学校・団体（こどもエコクラブなど）の野生生物保護に関する活動発表の場として、全国大会を環境省との共催で行っています。



■ 野鳥の巣箱事業

巣箱を通して野鳥保護を普及・啓発するため、幼稚園・保育園・小学校・一般の親子向けに、巣箱作りと巣箱架けのプログラムを提供しています。架設後も、野鳥保護の意識を高めるため、巣立ち後の巣箱の中身の観察などを行っています。



■ 調査・研究

シマフクロウやコアジサシなど、鳥類の保護を通じて自然環境を保全していくため、希少種の調査研究、そして保護活動を進めています。また、ワカケホンセイインコなどの外来種を調査、モニタリングし、在来種への影響把握に取り組んでいます。



■ 国際協力事業

フィリピン共和国やリトアニア共和国、ロシア等において、国際協力事業として鳥類の保護活動を進めています。

